

# 令和4年度 **サケ**の観察日記

## No.2

(令和5年) 1月5日

一週間ぶりに会うサケ達。フタをとるとビックリして石のかけにかくれるので、なかなか姿が見えません。でも石があることで安心するので、取らずに観察します。



この時期は太陽の光があたらないようにするため、段ボールで水槽を囲っています。



背中が少し黒っぽくなってきました。

1月26日

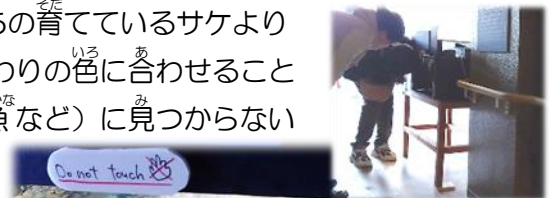
かなり魚らしくなってきました。サケの子どもの特徴である、黒い斑点模様もはっきり見えます。ただ、1尾だけ成長が遅れているサケがいるようなので、毎日注意して見ていきます。



体にカビがはえてきたら、ほかのサケにうつってしまうので、水槽からださなくてはなりません。がんばってほしいです。

1月27日

動物園のサケ達のようにも見てきました。体の色が私たちの育てているサケより黒かったです。サケの子どもは、体をまわりの色に合わせることで、捕食者（自分をたべようとする鳥や魚など）に見つからないようにしています。



動物園には海外からたくさん人がきているので、「Do not touch」（触らないで）と書かれていました。